

プレミアハウスを目指して

2012年3月期 第2四半期
決算説明資料

<レジュメ>

2011年11月17日

東海東京フィナンシャル・ホールディングス株式会社

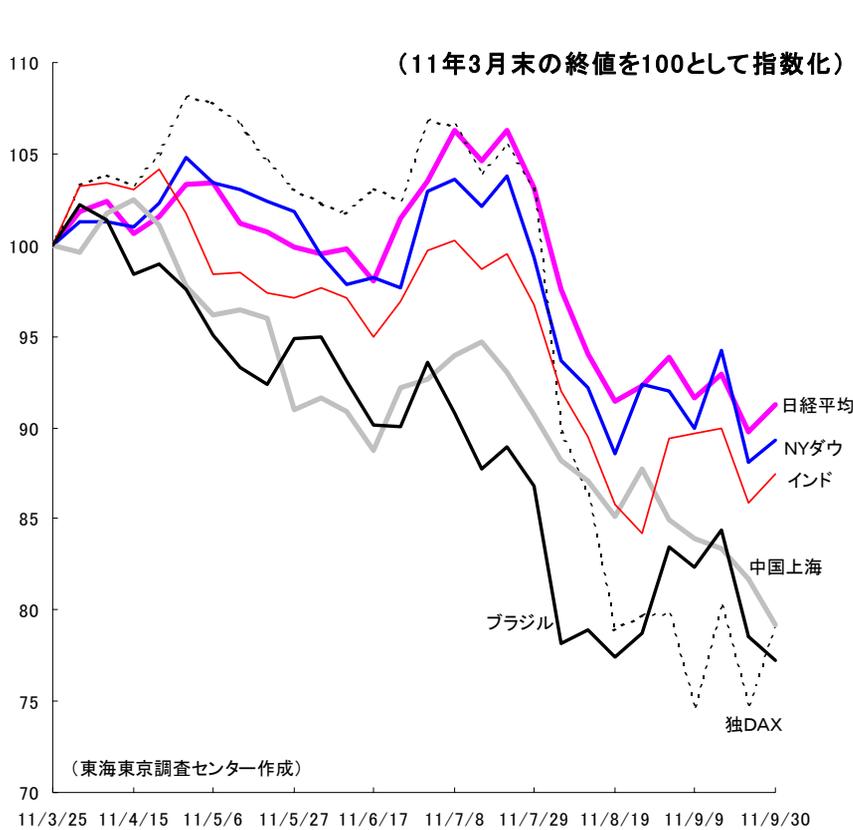
目次

- 市場の動向
- 決算概況
- 決算上の特徴
 - 営業収益上の特徴
 - 販売費・一般管理費の特徴
 - その他
- TT Revolution の重要テーマ
- 戦略テーマの進捗
 - 生産性
 - 成長性
 - カスタマーロイヤルティ
 - コミュニケーション
 - スーパーコミュニティハウス
- New Normal 時代の経営テーマ
- 東海東京フィナンシャル・グループの方向性
- 問合せ先

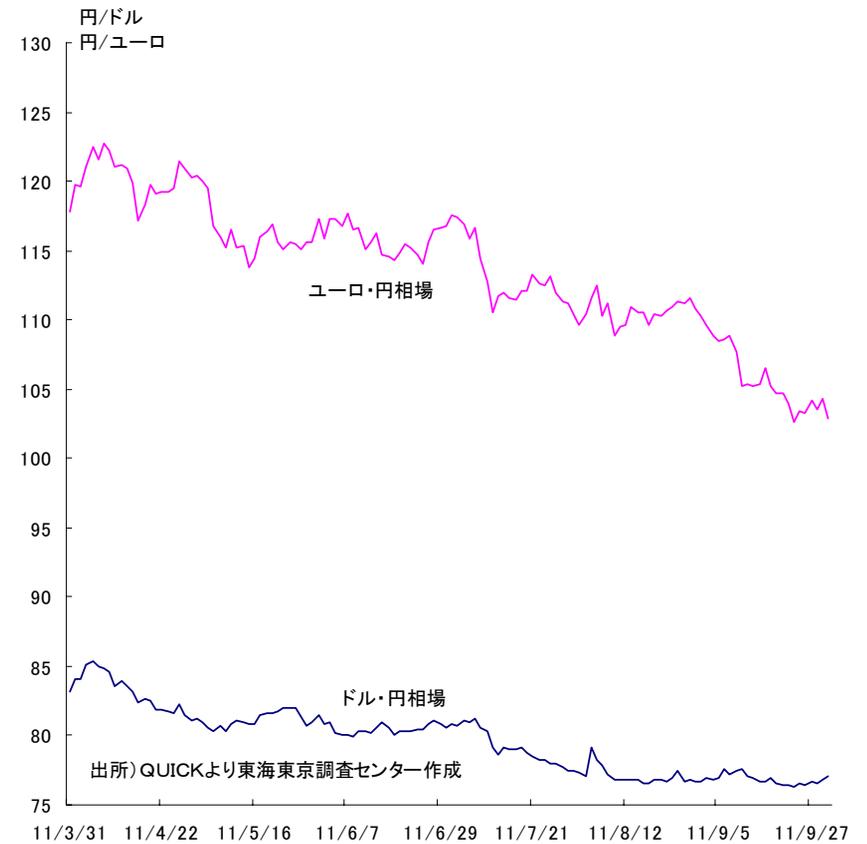
※この資料で使用する数字は、特に記載のない限り、連結に関する数字を使用しております。

1. 市場の動向

■ 主要国の株価指数

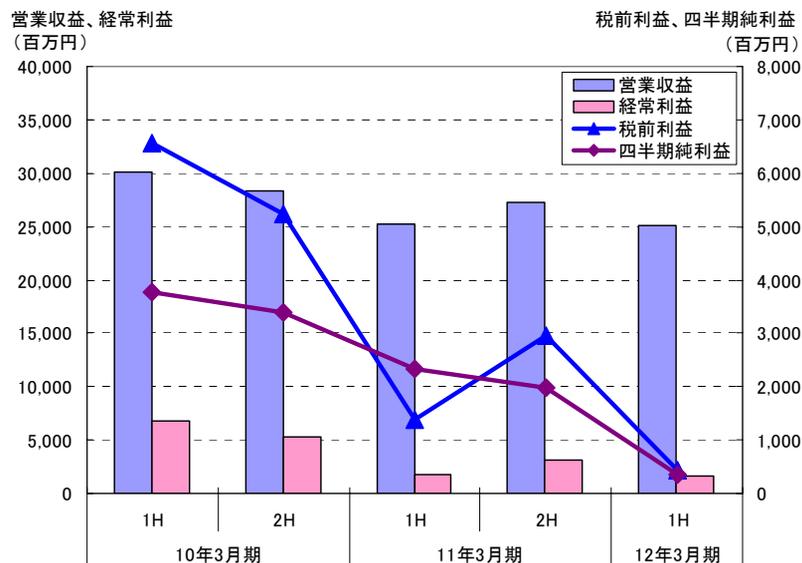


■ ドル・円、ユーロ・円相場



2. 決算概況(連結)

	10年3月期		11年3月期		12年3月期	前年下期比	前年上期比
	1H	2H	1H	2H	1H		
	09.4.1 09.9.30	09.10.1 10.3.31	10.4.1 10.9.30	10.10.1 11.3.31	11.4.1 11.9.30		
営業収益	30,125	28,374	25,188	27,214	25,125	92	100
販売費・一般管理費	23,361	23,232	23,406	24,288	23,490	97	100
営業利益	6,080	4,435	993	2,095	778	37	78
営業外収益	832	1,038	920	1,150	1,008	88	110
営業外費用	165	213	169	184	155	84	92
経常利益	6,747	5,261	1,744	3,061	1,631	53	94
特別利益	53	73	813	74	58	78	7
特別損失	250	104	1,162	168	1,246	742	107
税金等調整前四半期純利益	6,550	5,229	1,395	2,968	442	15	32
法人税等合計	2,781	1,836	-954	989	79	8	-
四半期純利益	3,766	3,394	2,342	1,976	357	18	15



3. 決算上の特徴

A. 営業収益上の特徴

- ① プロダクトラインの多様化
 - a. 外国株式
 - b. 外債・仕組債
 - c. SB
 - d. デリバティブ
- ② マーケティングストラテジーの成果
 - a. ホームマーケット重視
 - b. 富裕層対策の強化
 - c. 店舗の大型化による生産性向上
 - d. 法人営業における商品・顧客層の拡大

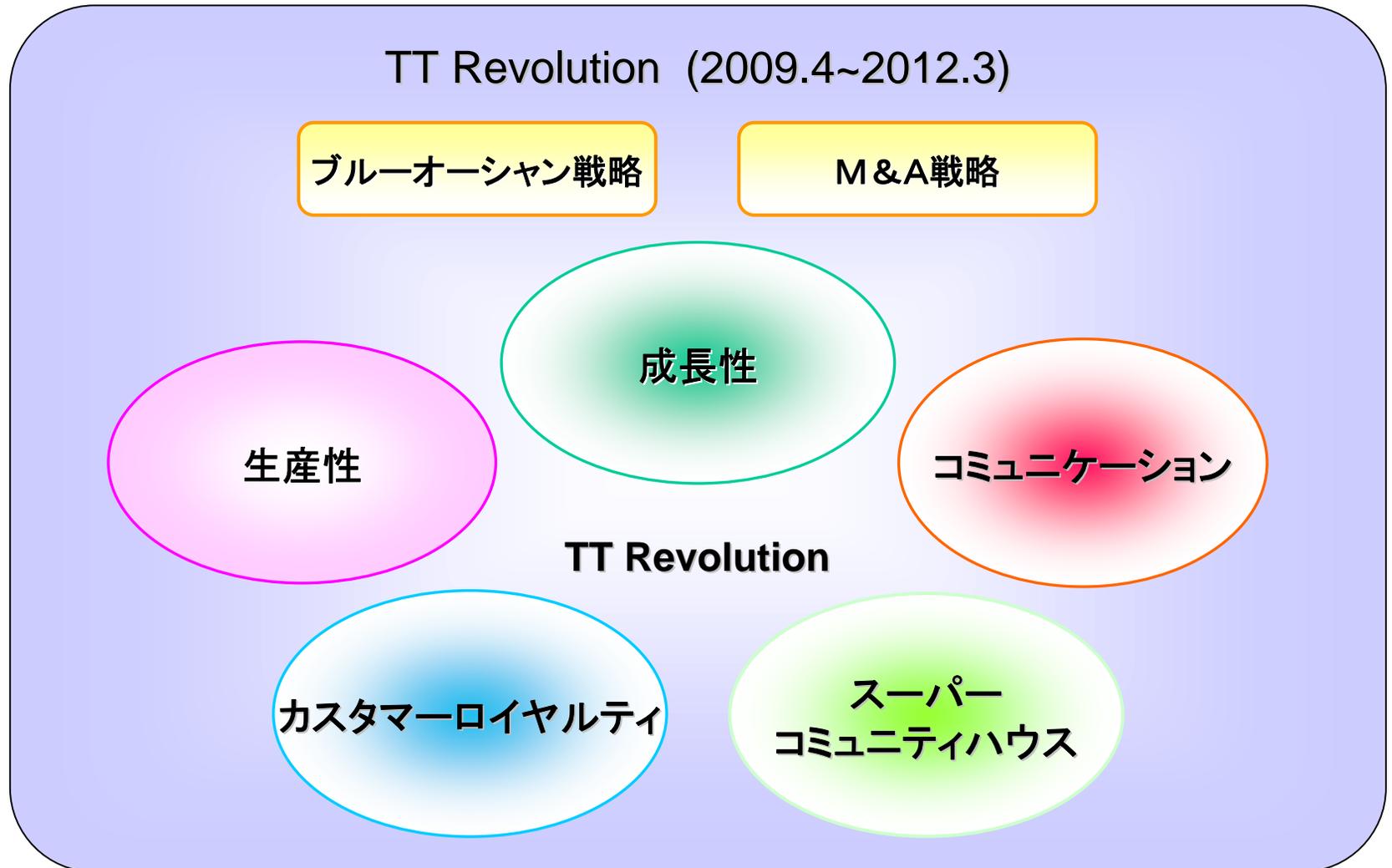
B. 販売費・一般管理費の特徴

- ① 人件費
- ② システムコスト
- ③ その他

C. その他

- ① 安定的な営業外損益
- ② 多額の有価証券評価減

4. TT Revolution の重要テーマ



5. 戦略テーマの進捗

① 生産性

- a. 若手営業員の生産性向上
- b. 非営業部門の効率化
- c. ディーリングビジネスの採算性アップ
- d. トヨタ事業本部の収益力強化

② 成長性

- a. 提携戦略
- b. M&A戦略

③ カスタマーロイヤルティ

- a. カスタマーロイヤルティ調査の活用

④ コミュニケーション

- a. 社内カルチャーの醸成
 - ・透明性の強化
 - ・不祥事対応
- b. 顧客へのマーケット情報の適切な伝達

⑤ スーパーコミュニティハウス

- a. セミナー、イベント等の実施
- b. 名古屋地区における活動
(CSR的取り組み)

6. New Normal 時代の経営テーマ

＜混乱と低迷の時代＞

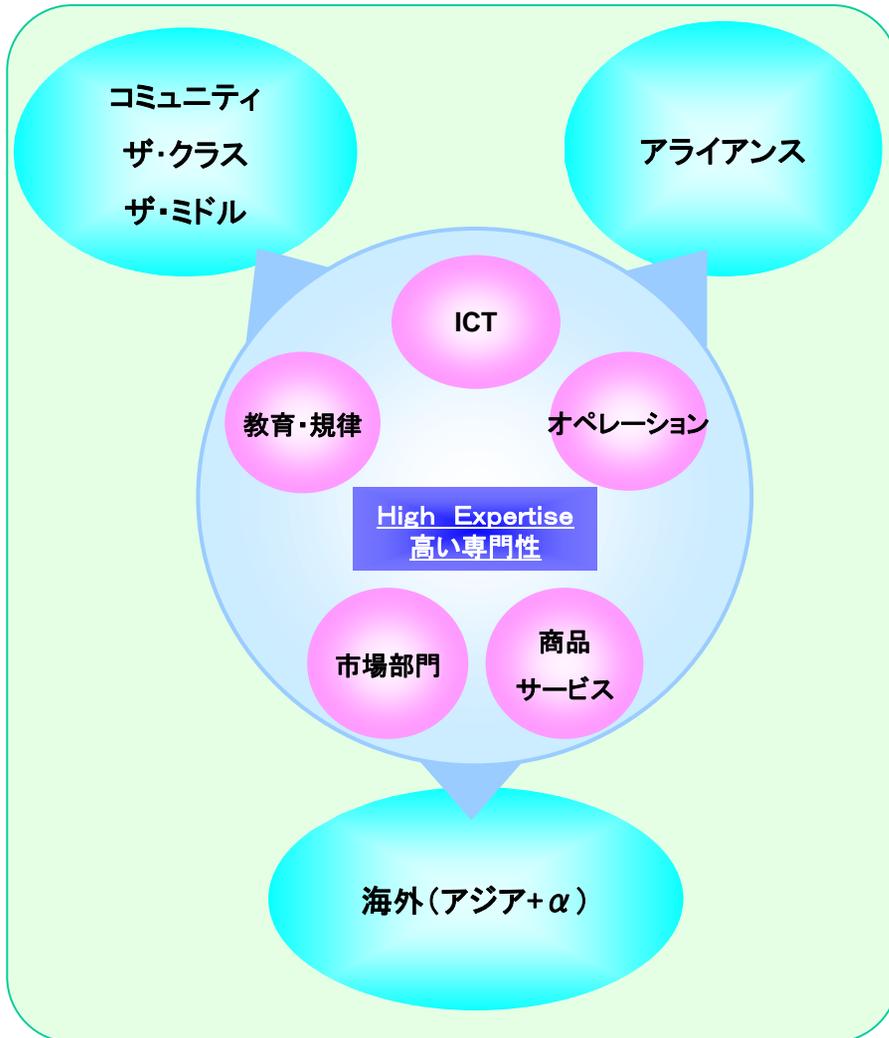
リスクコントロール

効率経営

多様性

資本力と資金力

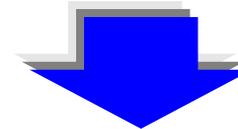
7. 東海東京フィナンシャル・グループの方向性



<10年後>



Greatest 6



Leading Player in Asia

問合せ先

- 東海東京フィナンシャル・ホールディングス 総合企画部
- TEL: 03-3517-8618 FAX: 03-3517-8314
- E-mail: fh_ir@tokaitokyo-fh.jp

2009年4月1日をもって、当社の営んでおりました金融商品取引業を会社分割により東海東京証券株式会社（旧商号：東海東京証券分割準備株式会社）へ承継し、当社グループは持株会社体制へ移行しております。

これに伴い、同日付で、当社は東海東京フィナンシャル・ホールディングス株式会社へ、東海東京証券分割準備株式会社は東海東京証券株式会社へ、それぞれ商号変更を行っております。

2009年3月期決算は、旧・東海東京証券株式会社としての、従来の体制下におけるものであります。

- ◇ 本資料は、最新の業績に関する情報の提供を目的とするためのものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。